

広報

せいざんかい

2018
第41号
発行
平成30年5月20日



梅



ふきのとう



水仙



チューリップ



桜

ペペ・メメールにも春の便りが届きました。
笑顔あふれる毎日になりますように。(ペペ・メメール)

社会福祉法人 せいざんかい 泚山会

いこいの里

- 特別養護老人ホーム（長期）
- デイサービスセンター
- 居宅介護支援事業所

〒945-1115 柏崎市大字佐水3140
TEL 0257-29-3800 FAX 0257-29-3350
E-mail ikoi@theia.ocn.ne.jp

柏柳の里

- 特別養護老人ホーム（長期）
- デイサービスセンター

〒945-1502 柏崎市高柳町岡野町2254番地1
TEL 0257-41-2202 FAX 0257-41-2203
E-mail hakuryu@almond.ocn.ne.jp

たんねの里

- 特別養護老人ホーム（長期）

〒945-0857 柏崎市大字谷根3190番地1
TEL 0257-26-2055 FAX 0257-26-2033
E-mail tanne@clear.ocn.ne.jp

柏崎市南地域包括支援センター

TEL 0257-31-4515 FAX 0257-31-4525
E-mail minamihoukatsu@cosmos.ocn.ne.jp

くじらなみ

- 特別養護老人ホーム（長期・短期）

〒945-0855 柏崎市鯨波2丁目4番3号
TEL 0257-32-1120 FAX 0257-32-1121
E-mail kujiranami@trad.ocn.ne.jp

ペペ・メメール

- 特別養護老人ホーム（長期）

〒945-0053 柏崎市鏡町2番14号
TEL 0257-41-6601 FAX 0257-41-6602
E-mail pepe-memere@grace.ocn.ne.jp

新年度を迎えて

平成三十年度は、医療・介護報酬の同時改定が行われました。改定の概要については既に示されているとおりです。介護報酬では前回（平成二十八年年度）改定の二・二七％減から〇・五四％増という形となっておりますが、サービスによって影響は異なります。基本報酬の改定に加えて既存の加算見直しや新規加算が創設されますが、当法人にとっては依然厳しい状況となっております。前回（平成二十八年年度）の報酬改定の影響は大きく、今回の改定においてこれを挽回するだけの対応を行うことは困難であると予想されるため、各施設においては安定的な利用の確保、新規加算算定の可否について随時検証し収入の確保に努めてまいります。

また、機器の整備について人員不足に伴う職員の身体的負担に配慮するため、移乗用リフト等の介護機器の導入を検討してまいります。導入にあたっては、職場定着支援助成金等の介護機器導入助成制度を活用しながら進めてまいります。施設・設備の老朽化に伴う修繕等については、優先順位を決め利用者の方々への影響を最小限にするよう、計画的に進めてまいります。

このほか、既存事業については、利用状況の管理によるニーズと採算性の検証、これと併せて配置人員を考慮しながら定員の見直しや今後の事業継続に関する方向性を検討してまいります。

社会福祉法人 沁山会 運営方針

経営理念

- ①私たちは、地域福祉の充実発展に衆知を集め、地域に開かれ、愛される法人を目指します。
- ②私たちは、地域・利用者との信頼の輪を広げます。
- ③私たちは、利用者の尊厳の保持、サービスの質の向上と顧客満足を追求します。
- ④私たちは、職員の質の向上と働きがいのある職場づくりを目指します。

○危機管理能力の強化

近年多発している自然災害や事故等には、その予防対策はもちろんのこと、それらが発生した場合の迅速かつ的確な対応、検証と再発防止を実践できるよう各施設の状況に合わせた訓練の実施、体制やマニュアルの見直しなど、危機管理能力の強化を図ります。また、万一の場合、地域の要請等に応えられるよう柏崎市その他関係機関と密接に連携し、その役割を果たすべく取り組んでまいります。

○障がい者雇用

今年度当初、法人内での障がい者雇用は7名の雇用者数となっており、法定雇用率（2.2％、7名）を達成しました。既に雇用している施設との情報交換を行うなど職員の理解を深め、関係機関とも連携しながら、引き続き定着に向けた取り組みを進めてまいります。

○安定経営に向けて

今年度の介護報酬改定を受けて、各施設における安定的な利用率の確保及び絶えず情報収集を行い、経営改善、財務の健全化に取り組みます。この厳しい状況を乗り切っていくため、これまでのやり方にとらわれず様々な手法を検討し対応してまいります。経営環境が厳しい事業については、事業自体の見直しを含めて経営の効率化を図ってまいります。

○人材の確保・育成

人材の確保にあたり、昨年度から就職支度金制度や職員からの紹介制度を導入しました。定期の職場説明会やホームページ、求人サイト等を活用し法人のPRを行い人材の確保に努めます。

育成面では、現状の課題の抽出や研修内容の見直しを行い、実効性のある人材育成の実施に取り組んでまいります。また、職員の育成及び定着を図るため、法人内の人材支援体制を構築します。

いこいの里

「笑顔」と「安心」の生活を



園長 金子直恵

皆様のあたたかいご支援とご協力により、いこいの里は二十三度目の春を迎えました。平成三十年度運営方針の一番初めに書いてある言葉は、「笑顔が多く、安心して過ごせるように」という介護サービス方針です。年度当初にあたり、あらためて私達に求められる役割について考えてみました。

在宅では、ひとり暮らしや認知症の高齢者の方が増加傾向にあり、生活支援のニーズが高まるなか、日常生活総合支援事業が本格スタートしました。今後も在宅サービスの充実を図り、より一層の地域社会への貢献に努めてまいります。

また、特養を取巻く環境は大きく変化し、大変厳しい状況ではあります。環境の変化に対応し、「地域に選ばれる施設」となれるよう、地域のニーズ把握と、的確な事業展開により、地域の皆様のご要望に応えるため取り組んでまいります。

加えて、特養本来の使命を果たすべくサービスの質の向上に努力し、利用者や家族の皆様の想いに応えてまいります。そのため、魅力的な職場作りを行い、職員がやりがいを持って働く環境を整えてまいります。

「笑顔」と「安心」のあふれるいこいの里に、これからもご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

平成30年度 いこいの里 運営方針

基本理念

「利用者から喜ばれる施設・家族から信頼される施設・地域から選ばれる施設を目指します。」

特別養護老人ホーム

- **安心快適でより良い生活を送るためのサービス提供**
3エリア体制のもと、生活の質の向上を常に目標とし、一人ひとりに合わせたサービスを提供します。
- **安全なサービスの提供**
介護事故防止や個人情報保護の保護に努めます。また、災害・感染症に対する備えや予防発生時の対応を的確に行います。
- **専門性を持ったサービスの提供**
研修の実地、部署や個人の目標を立て評価することで、より質の高いサービスを提供します。
- **地域との連携**
地域との交流を積極的に進めると共に、ボランティアや実習生の受入れ、障害者就業を促進します。
- **食事**
「食事を通じて日々の生活に彩を」をモットーに、多職種協働のもとで一人ひとりのニーズに添った食事提供を行い、食べる喜びから人生の豊かさに貢献できるよう努めていきます。
- **健康管理**
利用者がその人らしく快適に日常生活を送られるように、疾病の予防や異常の早期発見に努めます。

デイサービス

介護保険制度における「要介護状態となった高齢者ができる限り在宅で自立した生活を営むことができるように、必要な日常生活上の世話及び機能訓練を提供する」という、通所介護事業の役割を果たすし、総合事業についてはご利用者が健康増進や介護予防についての意識を持ちながら住み慣れた地域で自立した日常生活を送ることができるよう、ご利用者一人ひとりに合わせた柔軟な支援を行ってまいります。

居宅介護支援事業所

ご本人やご家族の意向、心身の状況や環境に応じて適切な居宅サービス計画を作成し、可能な限り居宅でその人らしく自立した生活を営むことができるよう支援します。

柏崎南地域包括支援センター

柏崎市の委託を受けて設置された、65歳以上の高齢者の方の総合相談窓口です。住み慣れた地域で安心して生活することができるよう、地域包括ケアシステムを構築する基点として、地域の皆様やさまざまな関係機関と連携し運営してまいります。

デイサービスのひとこま



おいしいさくら餅のできあがり!!



バスハイクに行きました!!



柏柳の里

地域の一員として



園長
壘
和明



日頃より、関係の皆様には大きなご支援を頂いております。改めて御礼申し上げます。

異動して参りました一年、この間特に感じますことは、高柳地域の皆様の、地域を愛する熱い想いです。様々な行事やイベント、学校への支援など、地域を盛り上げる活動に全力で取り組んでおられます。柏柳の里にも、ボランティアとして、いつもご協力を頂いております。私共も、色々な形でお返しができると思っております。

施設運営に目を向けますと、依然として厳しい状況はあります。しかしながら、皆様からのご期待にお応えし、地域の一員としての務めを果たしていけるよう努めます。また、利用者や家族の皆様にも笑顔で過ごして頂けるよう、より一層のサービスの向上にも努めて参ります。今年度も、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年度 柏柳の里 運営方針

基本理念 「地域に根ざした豊かな介護を提供します」

特別養護老人ホーム

I 利用者本意のサービス提供

一人ひとりの歩んできた道のりを大切にし、その人らしさが見いだせるよう個別ケアを提供していきます。

II 安全で快適なサービスの提供

事故防止、身体拘束廃止、高齢者虐待防止、感染症予防、防災対策、個人情報保護等に対して職員全員が共通の認識を持ち、利用者が安全で快適な生活が出来るよう努めていきます。

III 介護サービス・サービス提供者としての資の向上

施設内評価、第三者からの評価を実施し、質の高いサービスを追求します。また、職員の知識・技術を向上させると共に、豊かな人間性を養い、利用者の尊厳を支えるケアへの取り組みを実施します。

IV 地域福祉への取り組みについて

高齢者が住み慣れた地域で生活することができるよう、施設の機能を最大限に発揮した支援を行い、地域の拠点としての役割を担っていきます。

V 健康管理

利用者が穏やかな日々を過ごせるように看護職員一同、健康管理に努めます。また利用者・家族の意向が反映できるよう努力します。

VI 食事

個別の栄養ケアを多職種協働で支援し、利用者の生活機能維持・向上に寄与すべく、安全で美味しい食事を提供します。

デイサービス

健全で安定した在宅生活の助長・社会的孤立の解消・心身機能の維持、向上・ご家族の身体的、精神的負担の軽減に努めます。また「介護予防・日常生活支援総合事業」についても継続し、引き続き、要支援状態にある利用者が、その能力に応じて可能な限り自立した生活を営むことができるよう、生活の質の確保及び向上を図る支援を行います。地域連携の要として、誰もが気兼ねなく利用できるデイサービスを目指します。



くじらなみ

これからの介護を担うのは誰か



園長兼統括施設長
矢嶋 文博

今年の冬は、最近では珍しい大雪で驚かされましたが、三月に入り暖かく穏やかな日が続き、春の訪れも例年より早まった気がします。

三月二十八日の新潟日報に、『新潟市内の専門学校に通うベトナム人留学生二名が平成二九年度の介護福祉士試験に合格して、四月以降、新潟市内の福祉施設で介護の現場に立つ。』という記事が載っていました。

昨年九月に改正入管難民法が施行され、「介護」が在留資格として創設されたため、介護福祉士の資格を有する者は、介護の業務に従事することを目的として、最長五年（更新可）日本に在留することが出来るようになりました。

EPA（経済連携協定）、外国人技能実習制度、そして前述の資格取得後の在留資格「介護」というように、日本の介護分野で数多くの外国人に活躍の場が提供されています。

この背景には、日本人の介護職離れが強く影響していると言えます。その場しのぎで外国人に力を借りるのではなく、介護離職ゼロを目指すのであれば、どうすれば国民の介護職離れにストップを掛けられるかを最優先に考えて行かなければなりません。

今年度も、よろしくお願いいたします。

平成30年度 くじらなみ 運営方針 基本理念「あなたらしい生活を大切にします」

特別養護老人ホーム

I 入居者本位のサービスの提供

- ・ユニットごとに家庭的な雰囲気の中で、その方の生活のリズムに沿ったケアを行います。
- ・食事・排泄・入浴・機能訓練・歯科衛生・研修等の各委員会が中心となり、質の高い介護サービスの提供に努めます。

II 安全で快適なサービスの提供

- ・介護事故の防止、身体拘束ゼロ、虐待をしないケアを行い、入居者の尊厳を尊重します。
- ・入居者やご家族とコミュニケーションを図り、苦情や要望を反映したケアを行います。
- ・個人情報の保護、防災対策、感染症予防対策に関して、入居者の権利と安全を守るよう努めます。

III 専門性をもったサービスの提供

- ・施設内外の研修に積極的に参加し、ケアの質の向上を図ります。

- ・介護技術チェック表にて評価を行い、新任職員に対してはチェック項目を細分化し定期的にリーダーが評価・指導を行い、職員を育てる体制を整えます。
- ・接遇マナー自己チェック表により、マナー向上に努めます。

IV 地域との連携

- ・地域の行事に参加、外出行事を行い、地域の一員として交流を大切にします。

V 看護

- ・健康的で尊厳ある生活を送れるよう、看護職員と介護職員の連携を行い、異常の早期発見に努めます。
- ・その人らしい最期を迎えられるように、ご家族との連携を密にし、入居者の意向に沿った生き方を支援します。

VI 食事

- ・身体状況、嗜好等に応じた食事の提供を行い、その人らしい生き方を支える食事と栄養ケアに努めます。

ショートステイ

- ・利用者のニーズに基づいたサービスを提供し、在宅生活を支援します。
- ・生活面・健康面・環境面など快適に生活していただけるように努めます。

介護予防

- ・地域で生活する高齢者の「元気づくり」を目標に運動機能向上サービス（パワーリハビリ）を提供します。

12月



忘年会の鍋作り

1月



初詣でお参り

2月



節分の鬼退治!!

3月



おはぎ作り

季節を感じられるような行事を各ユニットで行いました。今年度も皆様笑顔で過ごせるよう計画しています♪

たんねの里

「目指すもの」



園長兼介護主任
猪爪 勝

谷根は四季折々の表情を見せ、心洗われる環境の場で、たんねの里は開所から八年目を迎えます。日々より地域の方々と御家族様には温かい御支援と御協力をお願いいたします。心より感謝申し上げます。

昨年度は、多くの地域行事等に参加させていただきました。入居者様の笑顔や楽しそうに過ごしている姿が見られ、築いた地域が、利用者様の皆様の喜びにも繋がると考えます。

より良い介護のためには、職員が誇りをもち、仕事に誇りを持ち、環境が大切になり、働きやすい環境を整えたいと考えています。

職員育成に力を入れ、職場環境を整えたいと考えています。

私達は利用者様のご意見を大切にし、お話を伺い、必要に応じて対応させていただきます。

共々、地域の方々と連携し、御協力をお願いいたします。

す。御協力を、今後、お願い申し上げます。

平成30年度 たんねの里 運営方針

基本理念「あなたの毎日に笑顔があふれるように、地域と共に寄り添っていきます」

①入居者本位のサービスの提供

入居者一人ひとりの歩んできた道のりを大切に、安全で安心して暮らせるように、個々の状態を把握し、寄り添うケアを行います。

②安全で快適なサービスの提供

介護事故防止、個人情報保護、苦情や要望に対する適切な対応、身体拘束や虐待をしないケアを目指します。また、災害や感染症に対する予防、発生時の対応を的確に行います。

③介護サービス提供者としての質の向上を図る

施設内評価を行い、第三者からの評価を実施し、当施設が行っているサービスが適切であるか検討します。また、職員一人ひとりが自分の立場・役割を認識するよう、日常の業務において常に意識づけをし、施設全体のチームワークを高めるよう努めます。

④地域福祉への取り組み

地域に信頼される施設を目指し、施設の持つ機能を積極的に地域社会に提供し、高齢者の方々だけでなく、地域の誰もが立ち寄ることができる福祉施設の拠点としての役割を担っていきます。

⑤看護

施設で暮らす入居者は何らかの疾病を持っており、種々の身体上、精神上の障害により日常生活の遂行に困難をきたしています。自立した日常生活が難しい入居者に対し、快適な生活が送れるように支援します。

⑥食事

「食べる楽しみ」を重視し、「食べる」ことによって笑顔があふれるような食事の提供を旨とする。衛生管理の徹底に努めることで安全で美味しい食事の提供に努めます。また、一人ひとりに寄り添った栄養ケアを多職種協働で支援します。

春の風に誘われて、いろんなところへお出かけに行きました



3月30日 夢の森の公園にて

小川のせせらぎを聞いたり、つくしを見たりして楽しみました。



4月3日、10日 風の丘米山にて

米山の眺めも良く、桜の花も満開でした。入居者様の素敵な笑顔もいただきました。



ペペ・メメール

選ばれる施設を目指して



園長兼事務局長
海津 一也



日頃より、当施設の運営にあたり、ご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当施設も五年目を迎え、節目の年となります。これを機にこれまでの取り組みを振り返り、更なるサービスの充実に努めてまいります。特に昨年度から開始した看取り介護の充実や各種委員会等の内部組織の再編成を行いながら、サービスの向上を図ります。

今は利用される方々が施設を選ぶ時代です。立地面での利便性や新しい設備も魅力ではありません。しかし、何より過ごしやすい雰囲気作りや施設理念にもあるように職員それぞれが利用者の皆様に寄り添う気持ちを持って日々のお世話にあたる大切だと思います。

互いに風通しの良い関係を築き、ご意向に沿ったサービスと居心地の良い環境を提供することで、皆様に満足し選んでいただける施設となるよう職員一同取り組んでまいります。今年度もよろしくお願ひ申し上げます。

平成30年度 ペペ・メメール 運営方針

基本理念

心に寄り添い 心をつなぐ ～みんなの笑顔のために～

I 入居者本位のサービスの提供

1人ひとりの入居者の歩んできた道のりを大切にし、その人らしい生活を過ごせるように支援します。

II 安全で快適なサービスの提供

職員が事故防止に対する共通の認識を持つように取り組み、万が一、事故が起きた場合は、迅速に対応し、適切に問題を解決していきます。

III サービス提供者としての質の向上

施設全体で知識・技術向上のため、職員研修体制の充実と自己研鑽できる姿勢を身に付けていきます。

IV 地域との連携

施設の持つ機能をより積極的に地域社会に提供し、地域との連携を図り、地域福祉の充実に努めます。

V 看護

高齢者の特徴と個別性を理解し、健康的な日常生活が送れるように援助を行います。また、予防的視点を持ち、介護職と共に入居者の尊厳ある生活を支援します。

VI 食事

1人ひとりの身体状況、嗜好、習慣に応じた食事を提供し、生活機能の維持・向上を図るとともに、その人らしい生活を支えていけるように努めます。

施設での取り組み

(口腔ケア研修)

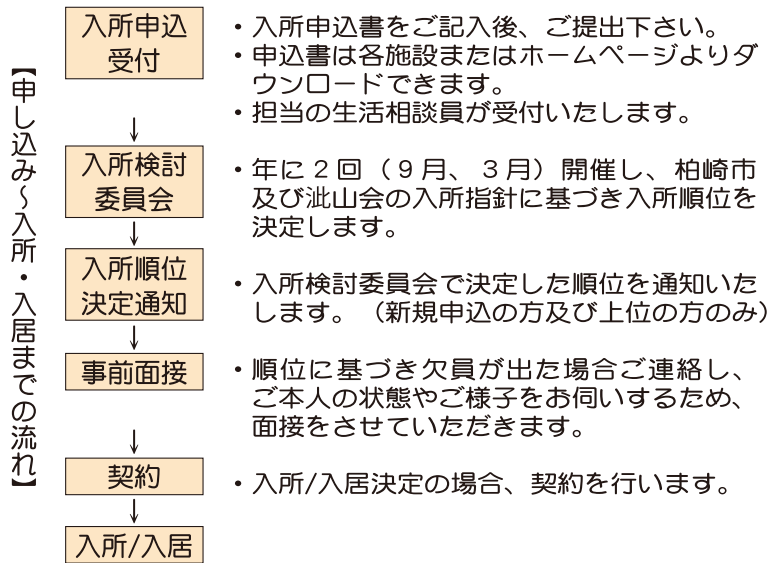
昨年度、利用者の皆様の口腔衛生と病気の予防などの取り組みを充実させるため、口腔ケア委員会を立ち上げました。

二月に高橋先生、船岡歯科衛生士様を講師にお招きし、口腔内の病気をテーマに、研修を行いました。



みなさまから寄せられる
よくあるご質問

特別養護老人ホーム入所/入居申込み方法について



【入所/入居対象】

身体上又は精神上に著しい障害があるために常時介護を必要とし、介護保険制度における要介護3～5の方で（要介護1、2の方は特例入所に該当する場合は対象となります。）居宅において介護を受けることが困難な方が対象となります。

ご不明な点等ございましたら、各施設へお気軽にお問い合わせ下さい。



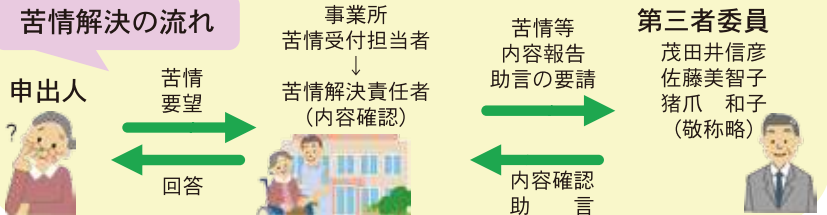
ボランティア募集中

- 各種教室 ○お話し相手
 - 外出行事のお手伝い
 - 縫い物、ミシンかけ、草取り等ボランティアをしてくださる方を募集しております。
- お気軽に各施設へご連絡下さい。
お待ちしております。

苦情受付について

泚山会では各園長を苦情解決責任者とし、各事業所に苦情受付担当者を配置し対応しております。より質の高いサービスの提供に繋げるため、苦情、要望、相談等ございましたら、来園、電話、文書等のような形でも受け付けておりますので、皆様の声をお聞かせ下さい。

苦情解決の流れ



職員紹介 介護の現場で元気に働く職員をご紹介します



特別養護老人ホーム
いこいの里
田邊 志歩

いこいの里に勤務して約1年半が経ち、今年度より正職員として勤務させていただきます。コミュニケーションと笑顔を大切に利用者の皆様が「その人らしく」快適に生活して頂けるサービスを提供できるよう日々邁進していきたく思います。



特別養護老人ホーム
くじらなみ
米山 慶子

くじらなみに勤務して6年が経ちました。介護の仕事は大変なことも多いですが、利用者の皆様の笑顔と一緒に働くスタッフに日々支えられています。今後も利用者の皆様が楽しく過ごしていただけるように努め、初心を忘れず向上心を持って働きたいと思っております。

大雪に見舞われた冬も終わり、暖かくなってまいりました。今年度より広報を年三回の発行とし、発行月も変更させていただきました。これからも内容に工夫しながら、読みやすい広報づくりに取り組んでまいります。

編集後記

(本部事務局 林)